

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード	732	施策	本市独自の強みを生かしたまちづくり
管理事業	シティプロモーション事業	所管部局	都市魅力部

1	所管室課	シティプロモーション推進室	事業名	大学のあるまちづくり事業				
事業概要								
大学のあるまちづくり								
活動実績		年度	R4	R5	R6	評価の視点		
<p>(1) 連携推進協議会（関西大学、大阪学院大学、千里金蘭大学、大和大学、大阪大学） ・市と各大学との2者間で、地域社会への貢献と社会的責任を果たすことを目的として意見交換や協議を実施。</p> <p>(2) 市職員講師の派遣 ・大学からの依頼により、市職員を講師として派遣。（4大学）令和4年度以降の実績は31回、31回、28回。</p> <p>(3) PBL授業 ・具体的な課題を学生自らが調査・研究し、解決策を見出すPBL（課題解決型）形式の授業に各室課から課題を提示し、学生から解決策の提案を受けた。（3大学4授業で実施）</p> <p>(4) その他主な取組 ・フードドライブに災害備蓄品や学生等ボランティア募集情報の提供等、市が主催及び協力する事業・イベントに、学生スタッフとして参加を表現。 ・令和4年度はウクライナ避難民支援、令和5年度には各大学の事務局間の意思疎通を図るための事務局会議を開催、また大阪成蹊大学とボランティア協定を締結、令和6年度には大阪大学と連携推進協議会を初開催。</p>		決算額 (千円)	100	100	105	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性		
		一般財源の比率(%)	100.0	100.0	100.0			
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		各大学等との連携は、単に回数だけを目指とせず連携の質にも着目し、双方にとって有意義な連携事業を促進する。あわせて、連携成果の効果的な発信や施策等への活かし方についても検討する。				今後の実施計画の方向性・内容
								拡充
						協定締結大学との連携強化に向けた取組を実施		

	所管室課		事業名					
事業概要								
活動実績		年度	R4	R5	R6	評価の視点		
		決算額 (千円)				※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性		
		一般財源の比率(%)						
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題						今後の実施計画の方向性・内容

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード	732	施策	本市独自の強みを生かしたまちづくり
管理事業	ホームタウン関連事業	所管部局	都市魅力部

1	所管室課	文化スポーツ推進室	事業名	ホームタウン推進事業			
事業概要							
ホームタウン推進事業							
活動実績		年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点	
小学4年生をスタジアムに招き講話やサッカー体験等を行う市民ふれあい事業、ガンバ大阪コーチが幼稚園・小学校に出向きサッカー等を行う等のキッズフォローアップ事業、保育・幼稚園児をスタジアムに招くピッチ体験事業等を行った。また、ガンバ大阪を応援する団体が実施したパブリックビューイング等に補助金を交付した。 ホームタウン推進事業参加者数 令和4年度…8,202人, 令和5年度…8,607人, 令和6年度…10,319人		決算額(千円)	68,847	69,010	68,394	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性	
		一般財源の比率(%)	0.0	0.0	0.0		
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		参加者総数としては目標達成に向けて順調に進んでいるものの、前年度に比べ減少している事業（キッズフォローアップ事業は38人減）もあることから、今まで以上にガンバ大阪と連携・協力し、市民ニーズに即した魅力ある事業展開を図る必要がある。 ネーミングライツ料を財源とし実施しているため、今後の財源確保が課題である。			
						継続	

2	所管室課		事業名				
事業概要							
活動実績		年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点	
		決算額(千円)				※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性	
		一般財源の比率(%)					
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題					

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名